

2015年4月1日～2017年6月11日までに

アトピー性皮膚炎、乾燥性湿疹、コリン作動性じんましん、無汗症、多汗症、膠原病患者の紅斑、蕁麻疹、アミロイド苔癬、扁平苔癬、痒疹、帯状疱疹と診断され皮膚生検を行った患者さん
手のひらの発汗試験を行った患者さんへおしらせ

課題名：温熱負荷による発汗機能解析

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2015年4月1日から2017年6月11日の間に、発汗障害関連疾患（下記参照）と診断され、皮膚生検（皮膚の一部を切りとる検査）を受けた患者さんについて、皮膚生検の際の残余検体を持ちいて、汗の特異抗原である、ダーマシジン染色や発汗異常に関連があるとされる帯状疱疹ウイルス抗体染色を行い、汗腺や汗管における汗の動向やウイルスタンパクの存在の有無を確認し、発汗障害の病態を検討する為、あなたの組織を用いて研究させていただきます。また同様の期間に手のひらを水道水につけ手のひらにシリコンをつけ皮膚の鋳型をとる発汗試験を行った患者さんの皮膚の鋳型を用いて手のひらの発汗を研究させていただきます。使用する試料は過去に皮膚生検を行った時の皮膚残余組織と診療の際に手のひら採取させて頂いたシリコンレプリカです。

対象となる発汗障害関連疾患は

アトピー性皮膚炎、乾燥性湿疹、コリン作動性じんましん、無汗症、多汗症、膠原病患者の紅斑、蕁麻疹、アミロイド苔癬、扁平苔癬、痒疹、帯状疱疹、掌蹠角化症

研究期間は、倫理委員会承認日から平成32年8月31日までの予定です。

個人情報、匿名化を行った後に研究を開始いたしますので、個人情報が外部に漏れることはありません。個人情報を匿名化する際に作成する対応表は総合医療センター5階青山裕美教授室内の鍵付きキャビネット中に保管致します。尚、モニタリングに従事する者並びに倫理審査委員会が当該研究対象者に関する試料・情報を閲覧致します。研究成果は学会や学術雑誌等で発表いたします。研究に関する情報・試料は発表から5年後に破棄致します。

尚、今回の研究データ及び試料を他の研究機関に提供いたします。また、将来の研究の為に二次利用する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け、承認を得て実施致します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じることが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究は、青山裕美の教員研究費とマルホ株式会社からの資金提供である「アレルギー・免疫異常に伴う皮膚疾患に関する共同研究」研究費を用いて行う研究です。当教室は、田辺三菱製薬（株）、鳥居薬品（株）、マルホ（株）、カネボウ化粧品（株）、大鵬薬品工業（株）、小野薬品工業（株）より奨学寄附金の受け入れがあり、マルホ（株）より講演料、原稿料、研究助成金の受け入れがありますが、利益相反委員会に申告を行い、適正に管理されています。

本研究に対象となる患者さんで、本研究に参加を希望されない方は平成29年12月31日までに拒否の意思を下記まで御連絡ください。この期間以降は解析が開始されますので、患者さんの情報を削除する事が出来なくなります。拒否された場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、経済的負担・謝礼はございません。研究に関してご希望であれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が無い範囲で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。ご質問のある方は、いつでも下記までご一報下さいますようお願い致します。

【問い合わせ先】

担当者：川崎医科大学総合医療センター 所属 皮膚科学 職名 教授 氏名 青山 裕美

TEL：086-225-2111

FAX：086-232-8343

共同研究機関：杏林大学医学部皮膚科学教室 准教授 水川 良子

マルホ株式会社